

大津東小学校 楽しい経験ができた 全校田植え！

穏やかな天候に恵まれた6月23日、大津東小学校の全校児童が田植えを行いました。本来は21日の土曜授業日に実施する予定でしたが、風雨などのため、延期して実施しました。

吹田区長の石井さんに田植えの手ほどきをうけ、5年生による植え方の説明を聞いた後、全員で学校前の田んぼに向かいました。素足で田んぼに入った子どもたちは、「キャアキャア」とうれしそうな悲鳴をあげながら、田植えを経験していました。

日程変更のため実施できなくなった「どろりんピック」の代わりに、早めに田植えが終わった低学年の子どもたちは、田んぼの横の用水を使って手足を洗い、水遊びもしました。

平日にもかかわらずPTA役員や多くの保護者の皆さんの参加がありました。また、地域の人からもらった「田植えまんじゅう」は、全校児童でおいしくいただきました。

今回植えたもち米は秋に収穫し、11月に予定している「フェスタ」で餅つきをして地域の皆さんに振る舞ったり、もち米の販売を行ったりする予定です。皆さん、ぜひ大津東小学校へ来てください。



THE GOOD LIFE (ザ グッド ライフ)

HASTINGS AND OZU: ROCKIN' THE INTERNATIONAL EXCHANGE!

今年の5月、大津町の姉妹都市・アメリカ合衆国のヘイスティングズ市から、10人の市民が8泊9日で大津町を訪れました。この旅はとてもハードスケジュールでした。市民訪問団の皆さんは、大津町民の家でホームステイをし、HONDAの二輪車製造工場や大津北中学校、国指定重要文化財の「江藤家住宅」を見学したり、ラーメン屋や日本のファミレスでランチしたり、梅の造花を作ったりなど、多くの体験を楽しみました。大津町以外には、熊本市



今月のブレイクさん

阿蘇をバックに記念撮影



い事に驚いていました。

多くの市民訪問団の皆さんが、大津に来る前は「日本には東京みたいな都市がどこにでもある」イメージを持っていました。日本に田舎があることを想像できなかったのです。他にも、「日本の社会は閉鎖的」というイメージも持っていました。姉妹都市交流は、実際の日本を知ることのできる、とても良いチャンスなのです。

市民訪問団の皆さんが、帰国後に今回の大津町訪問の感想を送ってくれました。その内容は、「日本の社会はフレンドリーで、皆が親切に接してくれた」、「気前が良かった」、「おもてなしが素晴らしかった」、「電車の時間の正確さやICカード技術の発達が印象的」、「人々が手を取り合ってより良い人生を送ろうとしている国」、「畑地や資源が少なくても、あるもので工夫して取り組む姿など、アメリカ人は日本人から学べるものがたくさんあると思った」などでした。



的な友情が生まれ、続いています。

今回、市民訪問団の皆さんは実際の日本、そして「侍」「忍者」「芸者」など固定観念ではない、リアルな日本人と出会いました。どこに行っても、大津の皆さんは彼らに、親切な対応をしました。その結果、訪問団員はヘイスティングズ市に帰って、大津町民の素晴らしさを伝えることなのでしょう。そうすると、ヘイスティングズ市に住む人々が大津に興味を持ちます。

このような交流を続けると、世界観がもっと広がって、私達はお互いをもっと理解することができるようになるでしょう。



歓迎レセプション

姉妹都市交流の本当の価値は、人と人が繋がる事です。大津町とヘイスティングズ市が姉妹都市締結して19年。その間に、たくさんの個人



「梅の造花」体験

長年の活動を表彰

6月17日、大津警察署で「地域交通安全活動推進委員個人表彰」の伝達式が行われ、大津地区地域会交通安全活動推進委員会副会長の岡田儀雄さんが表彰を受けました。岡田さんは12年間に渡り、「二十日会」と称する高齢者を対象とした会合の開催による交通安全教育「管内児童に対する地域に根差した交通安全教育」「自治体職員と連携した教職員・保護者を対象とする交通安全指導者の育成と拡大」「交通安全日のみならず、連日、通学児童に対する交通安全活動」などを行い、組織の中核として活動しました。今回は組織の発展や地域の交通安全のためへの尽力が認められ、受賞しました。

地域交通安全活動推進委員個人表彰



岡田さんは、町の交通指導隊長や大津地区安全運転管理者等協議会副会長としても活躍しています